

資料

視覚障害教育の現状と課題

—令和4年度全国盲学校長会調査—

山岸直人¹⁾、和田恒彦²⁾

- 1) 全国盲学校校長会会長
東京都立文京盲学校長
- 2) 筑波大学理療科教員養成施設長

キーワード 盲学校校長会、全国調査、理療

I. はじめに

全国盲校校長会では、毎年「全国盲学校生徒等調査」を実施しており、調査結果を「視覚障害教育の現状と課題」にまとめている。令和4年9月に発行したNo.61より、理療教育に関連する項目を中心に記載する。

II. 結果

1. 盲学校学校数

67校1分校だった。設置者は国立1校、市立3校、私立1校、都道府県立62校、分校1校(休校)だった。1県に1校の学校は47都道府県のうち37府県(79%)だった。

2. 設置形態

1) 設置形態

67校のうち、高等部単独校が2校、幼・小・中学部校が8校、小・中学部校が1校、盲・聾併置校が3校だった。

2) 設置学部・学科別

幼稚部を設置している学校は56校、小学部を設置している学校は65校、中学部を設置している学校は65校、高等部普通科を設置している学校は55校だった。

3) 職業学科別

理療教育を行っている学校は58校あり、うち本科保健理療科を設置している学校は45校だった。

専攻科理療科は56校(うち2校は鍼灸手技療法科)、専攻科保健理療科を設置している学校は39校だった。

理療研修科は専攻科研修科が1校、専攻科鍼灸手技療法研修科が1校、専攻科研究部理療科が1校だった。

専攻科理学療法科は2校、専修部柔道整復科は1校だった。

本科音楽科を設置しているのは2校、専攻科音楽科を設置しているのは2校だった。

本科生活技能科を設置しているのは1校、本科総合生活科を設置しているのは1校だった。

専攻科生活科は1校、専攻科生活情報科は1校(1年課程)、専攻科普通科は1校(1年課程)だった。

3. スクールバス

スクールバス配置校は34校だった。

4. 名称

「盲学校」のまま名称変更なしは40校、

「視覚特別支援学校」、「視覚支援学校」等は27校だった。

5. 障害種

複数の障害種に対応した学校は、視覚・聴覚・肢体・知的・病弱が1校(山口県立下関南総合支援学校)、視覚・聴覚・肢体・知的が1校(神奈川県立相模原中央支援学校)、視覚、聴覚、知的が1校(新潟県立新潟よつば学園)、視覚・病弱(高普)が1校(富山県立富山視覚総合支援学校)、視覚・肢体・病弱が1校(福岡県立柳河特別支援学校)、視覚・知的が1校(東京都立久我山青光学園)だった。

6. 生徒数

1) 在籍生徒数(総数)

令和4年現在の盲学校の在籍生徒数は、幼稚部166名、小学部530名、中学部419名、高等部本科624名、専攻科549名の総計2,288名だった。(表1)

2) 幼稚部在籍状況

学級数は77学級、幼児数は166人だった。

3) 小学部在籍状況

単一障害の学級数は142学級、重複障害の学級数は122学級、小学部児童数は合計530人だった。

4) 中学部在籍状況

単一障害は103学級、重複障害は95学級、中学部生徒数合計は419人だった。

5) 高等部本科普通科

高等部本科普通科の単一障害は133学級、重複障害は93学級、高等部本科普通科生徒数合計は552人だった。

6) 高等部本科保健医療科

46学級55名だった。

7) 高等部本科音楽科

1学級7名だった。

8) 高等部本科生活技能科

4学級10名だった。

表1 盲学校在籍者数

	幼稚部	小学部	中学部	高等部本科	高等部専攻科	総計
令和4年度	166	530	419	624	549	2,288
令和3年度	161	560	412	658	575	2,366
令和2年度	169	573	418	692	650	2,502
令和元年度	189	571	484	678	694	2,616
平成30年度	198	577	505	667	784	2,731
平成29年度	196	574	514	664	845	2,793
平成28年度	201	613	490	677	882	2,863
平成27年度	213	618	476	758	936	3,001
平成26年度	221	654	470	816	1,031	3,192
平成25年度	234	668	482	862	1,108	3,354
平成24年度	222	672	519	873	1,170	3,456
平成23年度	232	662	526	862	1,182	3,464
平成22年度	254	660	519	850	1,195	3,478
平成21年度	255	677	497	829	1,209	3,467
平成20年度	265	666	488	857	1,255	3,531
平成19年度	260	656	479	905	1,288	3,588
平成18年度	268	680	446	933	1,362	3,689
平成17年度	263	703	463	959	1,424	3,812
平成16年度	271	667	499	959	1,457	3,853

表2 盲学校理療関係学年別在籍者数

部・科	高等部本科				高等部専攻科							
	保健理療科 手技療法科				保健理療科 手技療法科				理療科 鍼灸手技療法科			
学年	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
合計	21	17	17	55	52	52	57	161	126	102	116	344

9) 高等部専攻科保健理療科

90学級161名だった。

10) 高等部専攻科理療科

137学級315名だった。

11) 高等部専攻科理学療法科

6学級19名だった。

12) 高等部専攻科音楽科

2学級3名だった。

13) 高等部専攻科生活情報科

1学級1名だった。

14) 高等部専攻科研修科

4学級6名だった。

15) 高等部専攻科鍼灸手技療法科

8学級29名だった。

16) 高等部専攻科鍼灸手技療法研修科

1学級1名だった。

17) 高等部専攻科普通科

3学級5名だった。

18) 高等部専修部柔道整復科

3学級9名だった。

理療関係の学年別在籍者数は表2に示す。

Ⅲ. 結語

令和4年度の盲学校在籍生徒数は2,288人と平成30年度の2,731名¹⁾に比べ443名減少し、特に理療関係学科の減少が目立った。理療教育の啓発活動がさらに必要である。さらに、理療教育の質を高め、国家試験対策に力を入れていくことが重要である²⁾。

Ⅳ. 謝辞

盲学校校長会のデータを利用させていただきました。

Ⅴ. 文献

1) 和田恒彦：筑波大学理療科教員養成施設紀要，3巻，1号，23-25，2018.

2) 國松利津子：視覚障害教育の現状と課題～平成29年度年報版～ 全国盲学校長会平成30年6月発行.